

第2回 安全・安心フォーラム

郡山市の 除染の取り組みについて

日時 平成24年1月29日(日)

場所 郡山女子大学

みんなの
“笑顔”と“元気”
取り戻します。

郡山市
原子力災害対策直轄室
TEL 024-924-4731



郡山市の原子力災害の 取り組みについて

- ◎ 原子力災害対策直轄室の設置
- ◎ 原子力災害アドバイザーの選任
- ◎ 小・中学校、保育所の表土除去
- ◎ 線量低減に向けた取り組み
- ◎ 放射線からの健康管理
- ◎ 新たな事業への取り組み
- ◎ 子どもたちが、のびのび活動できるように
- ◎ 震災後子ども心のケアプロジェクト
- ◎ 郡山市ふるさと再生除染計画



原子力災害対策直轄室の設置

▼ 経 緯

- H23.3.11 東日本大震災、
東京電力福島第一原子力発電所事故発生
- 6.11 原子力災害対策プロジェクトチーム発足
- 10.11 原子力災害対策直轄室を設置
(職員12名体制)

▼ 役 割

市長、副市長の指示のもと、

- ・ 「除染計画推進」、「健康管理・分析」、「損害賠償相談」等の事務にあたる。
- ・ 各部局の連絡調整をする。

原子力災害対策アドバイザーの選任

- ▼ 目的 除染や市民の健康管理等について、専門的な見地から多角的に助言をいただく。
- ▼ 人数 4名
- ▼ 人員

氏名	所属
大久保 利晃 氏	(財)放射線影響研究所 理事長
真田 宏夫 氏	千葉大学 名誉教授
富田 悟 氏	東京工業大学放射線総合センター 助教
太神 和廣 氏	(社)郡山医師会 理事

小・中学校、保育所等の表土除去 ①

▼ 経緯

4月27日 全国に先駆けて小中学校及び保育所等の表土除去を開始。

12月13日 全ての小中学校及び保育所等で毎時1.0マイクロシーベルトを下回る。

▼ 除染実施施設数 179施設／230施設

施設区分	施設数	施設区分	施設数
保育所(公立)	24／25	幼稚園	27／33
保育所(認可)	12／14	小学校	60／61
保育所(認可外)	29／69	中学校	27／28



小・中学校、保育所等の表土除去 ②

▼ スポーツ広場の基準

地上50センチメートルで毎時1.0マイクロシーベルト以上が対象

▼ 実施状況

◎ スポーツ広場等

開成山野球場、スポーツ広場(喜久田、安積)、
開成山補助競技場、開成山南自由広場



小・中学校、保育所等の表土除去 ③

▼ 実施状況

種 別	実施する主な公園	実施予定	実施済
都市公園	開成山公園、荒池西公園など	174	99
ちびっ子広場	菜根三丁目ちびっ子広場など	252	166
農村公園	荒池農村公園など	3	1
市営住宅団地内公園	鶴見坦団地公園など	25	17
合 計		454	283

※ 表土除去実施後は、安心して利用していただくため、線量を表示した看板を設置します。

線量低減に向けた取り組み

▼ 市の取り組み

- ◎ 「放射性物質除染マニュアル」を作成

- ◎ 「線量低減化活動支援事業」の実施

通学路等、子どもが過ごす時間が多い場所における放射線量の低減を図るため、町内会等が実施する除染活動に対して、1団体あたり上限50万円を補助

- 補助実績 468団体(1月20日現在)

- ◎ サーベイメータの配備

全ての町内会(655団体)に1台ずつ配布



放射線からの健康管理

▼ バッジ式積算線量計の配布

- ◎ 対象 小・中学生、未就学児・妊婦
約52,000人
10月から3回(4～5か月間)実施

- ◎ 結果(第1回目)

「健康に影響を与える

ような数値ではない。」

(市アドバイザーより)



1月から開始した新たな事業

身の回りの放射線を「見える化」し、市民の安心につなげる。

▼ 個人宅の放射線量測定事業

- ◎ 事業開始 平成24年1月11日から
- ◎ 申込件数 952件(1月24日現在)

▼ 空間線量計(サーベイメータ)貸出事業

- ◎ 事業開始 平成24年1月23日から
- ◎ 申込件数 360件(1月24日現在)

▼ 電子式積算線量計貸出事業

- ◎ 事業開始 平成24年1月25日から



(仮称)郡山市放射線健康管理センター

▼ **開設時期** 平成24年度早期を目途

▼ **検査内容**

◎ **ホールボディカウンタによる内部被ばく検査**

- ・ 台 数 立位式 1台、チェア式 1台
- ・ 検査対象 希望する全市民

(妊婦や18歳までの子どもを優先)

◎ **超音波検査機器による子どもの甲状腺検査**

現在、県立医科大学において具体的な実施方法等について検討中。今後、県立医大・郡山医師会と協議する。

- ・ 検査対象 18歳以下の市民



食品の安全確保 ①

- ▼ **カリウム肥料の購入費用一部助成**
放射性セシウムの吸収を抑制するため
 - 助成額 4,650万円 (3,600ha対応)
- ▼ **放射性物質測定機器の整備**
 - ◎ **ゲルマニウム半導体検出器**
 - 設置場所 保健所(1台)、水道局(1台)
 - 用途
 - ▷米、水道水検査用
 - ▷簡易検査で高い数値の出た食品の精密検査用



食品の安全確保 ②

▼ 放射性物質測定機器の整備

◎ NaIシンチレーションスペクトロメータ

- 設置場所 食肉衛生検査所(2台)、農業センター(1台)、総合卸売市場(1台)、保健所(1台)
- 用途 出荷前食肉検査、出荷前農産物検査、井戸水、保育所給食検査、食品買取検査用

※ 今後の整備予定

- ◎ NaIシンチレーションスペクトロメータ(学校給食検査用)
給食センター調理分を毎食、自校給食分をローテーション検査
- ◎ NaIシンチレーションスペクトロメータ(市民が持ちこむ食品等)
全行政センター、地域公民館等に49台配置予定

子どもたちが、 のびのび活動できるために ①

屋外の活動が制限されている子どもたちが、のびのびと活動できる機会を提供する。

▼ 湖南林間学校

- ◎ 対 象 小学生とその保護者
- ◎ 実施時期 夏休み期間中
- ◎ 実施回数 3 回
- ◎ 参加者数 424名（うち保護者 68名）
- ◎ 内 容 水泳、ダンス教室、水生生物調査、
星空観察、自然散策など

子どもたちが、 のびのび活動できるために ②

自由に外で遊べない小学生等に各公民館を開放し、勉強、読書など自由に活用する機会を提供する。

▼ のびのび公民館サマースクール

- ◎ 対 象 小学生等
- ◎ 実施時期 夏休み期間中(7/21～8/24)
- ◎ 利用者数 延べ2,507名



震災後子どもの

心のケアプロジェクト ①

郡山医師会や関係団体と連携し、子ども達の心や体のケアに取り組む。

▼ 「元気なおおりやま・キッズフェスタ」

◎ 平成23年5月5日

- ・ 場 所 ニコニコこども館
- ・ 参加者 1,000人

◎ 8月26日～28日

- ・ 場 所 ハーモニーステーション郡山
- ・ 参加者 3,500人



震災後子どもの

心のケアプロジェクト ②

東北最大の屋内遊び場。

株式会社ヨークベニマル等から、子どものために提供を受けた。遊具等についても寄付を受けた。

▼ 郡山市元気な遊びの広場「PEP Kids Koriyama」

- ◎ 開所日 平成23年12月23日
- ◎ 施設概要 敷地 約7,000平方メートル
建物 約2,400平方メートル
- ◎ 対象 小学生、未就学児とその保護者

※ その他、「子どものメンタルヘルスケア事業」、

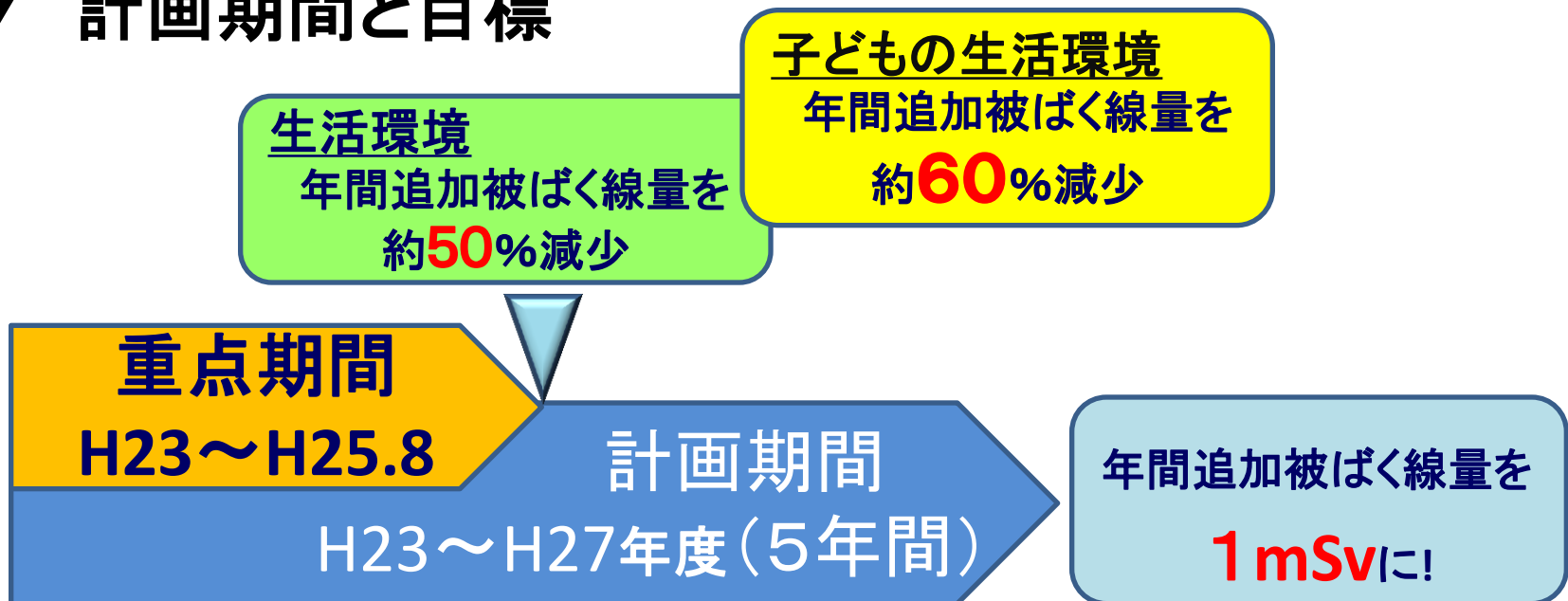
「臨床心理士による心のケア研修会」を実施

郡山市ふるさと再生除染計画 ①

▼ 基本方針

- ・ 市をはじめ、地域との協働により取り組む。
- ・ 除染費用は、全額を国、東京電力に求償する。

▼ 計画期間と目標



郡山市ふるさと再生除染計画 ②

▼ 除染実施方針

汚染状況に応じて実施する。



『面的な除染』

追加被ばく年間 **5mSv** (0.99 μ Sv/h) を
超える区域

(住宅、道路、側溝、公共施設等)

『局所的な除染』

追加被ばく年間 **5mSv** (0.99 μ Sv/h) 以
下の区域

(雨樋、道路、側溝等の高線量箇所)

郡山市ふるさと再生除染計画 ③

▼ 市民協働による除染の推進

- ◎ 郡山市線量低減化支援事業
- ◎ 除染マニュアルの活用、相談体制
- ◎ 除染に係る資材の配布、機器等の貸出
- ◎ 個人住宅の空間線量計の測定
- ◎ サーベイメータ、電子式積算線量計の貸出



郡山市ふるさと再生除染計画 ④

▼ 除染に伴い発生した土壌等の対応（仮置場）

国が設置する『中間保管施設』に搬入するまでの間、一時的に保管する仮置場を設置。

- ◎ 道路、側溝等
⇒ スポーツ広場、公園等
- ◎ 住宅等 ⇒ 宅地内
- ◎ 全市的な仮置場
⇒ 国有地等の活用を
協議



安全に埋設

放射線・除染等啓発活動

▼ 放射線・除染講習会

福島県との共催により、1月中に5回開催。

▼ 安全・安心フォーラム

福島県との共催により、本日開催。

▼ 郡山市原子力災害アドバイザーによる講演会

今後、市民の皆様に御周知します。



おわりに

ふるさと こおりやま に

住み続けるために

力をあわせて、

がんばりましょう！

